

平成14年12月 検定試験

[No.08] コモン・レール式高圧燃料噴射システム方式のジーゼル・エンジンの特徴として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 燃料噴射圧力を高圧化することで燃料が微粒化し、燃料の総表面積が大きくなって、周囲の吸入空気や熱とよく触れるようになる。このため、良い燃焼状態になり PM の発生が低減する。
- (2) 燃料が微粒化したことで着火性が良くなるため、噴射タイミングを進角させることができ、着火遅れや燃焼期間が短くなることにより燃焼温度が低くなるので、NO_x の生成も低減できる。
- (3) コモン・レールと電磁式インジェクタを使用することにより、噴射量及び噴射時期をエンジン ECU で精密に制御できる。
- (4) 燃料噴射を 2 段階に分割し、パイロット噴射を行うことによりメインの燃焼が緩やかに開始するため、エンジンの振動及び騒音を低減できる。